
農業簿記検定 問題集

2級

大原出版

はじめに

わが国の農業は、これまで家業としての農業が主流で、簿記記帳も税務申告を目的とするものでした。しかしながら、農業従事者の高齢化や耕作放棄地の拡大など、わが国の農業の課題が浮き彫りになるなか、農業経営の変革が求められています。一方、農業に経営として取り組む農業者も徐々に増えてきており、農業経営の法人化や6次産業化が着実にすすみつつあります。

当協会は、わが国の農業経営の発展に寄与することを目的として平成5年8月に任意組織として発足し、平成22年4月に一般社団法人へ組織変更いたしました。これまで、当協会では農業経営における税務問題などに対応できる専門コンサルタントの育成に取り組むとともに、その事業の1つとして農業簿記検定に取り組んできており、このたびその教科書として本書を作成いたしました。

本来、簿記記帳は税務申告のためにだけあるのではなく、記帳で得られる情報を経営判断に活用することが大切です。記帳の結果、作成される貸借対照表や損益計算書などの財務諸表から問題点を把握し、農業経営の発展のカギを見つけることがこれからの農業経営にとって重要となります。

本書が、農業経営の発展の礎となる農業簿記の普及に寄与するとともに、広く農業を支援する方々の農業への理解の一助となれば幸いです。

一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

会長 森 剛一

●本書の利用にあたって●

この問題集は、姉妹編の「農業簿記検定教科書 2 級」に準拠した問題集です。従って、教科書の学習の進度に合わせて、併行して利用されることをお奨め致します。

- (1) 教科書の単元を学習し終えたら、問題集を解いてください。解答後は、必ず解答編で確認するようにしてください。

問題 1 原価の分類（教科書 P. 7）

教科書の P. 7 までを学習し終えたら、問題 1 を解いて下さい。

- (2) 解答を見ても分からないときは、教科書に戻り説明を読んで、どこが間違っているかを確認しましょう。

農業簿記検定問題集

2 級

目 次

第 1 編 原価計算編	2
第 1 章 農業簿記の基礎	2
問題 1 原価の分類 (教科書 P. 7)	2
第 2 章 農業簿記の記帳体系	3
問題 2 個別原価計算の記帳体系 (教科書 P. 13)	3
第 3 章 材料費会計	5
問題 3 材料の購入 (教科書 P. 21)	5
問題 4 材料の消費① (教科書 P. 25)	6
問題 5 材料の消費② (教科書 P. 29)	8
問題 6 材料の消費③ (教科書 P. 29)	10
第 4 章 労務費会計	12
問題 7 労務費会計 I (教科書 P. 35)	12
問題 8 労務費会計 II (教科書 P. 40)	13
第 5 章 経費会計	15
問題 9 経費会計 I (教科書 P. 45)	15
問題 10 経費会計 II (教科書 P. 46)	15
第 6 章 製造間接費会計	16
問題 11 製造間接費会計 (教科書 P. 56)	16
問題 12 公式法変動予算 (教科書 P. 56)	18
第 7 章 部門別計算	19
問題 13 部門別計算 (教科書 P. 62)	19
第 8 章 製品別計算	21
問題 14 単純個別原価計算 (教科書 P. 66)	21
問題 15 単純総合原価計算 I (教科書 P. 69)	23
問題 16 単純総合原価計算 II (教科書 P. 71)	24
問題 17 正常仕損の処理 (終点発生) (教科書 P. 75)	25
問題 18 正常仕損の処理 (始点発生) (教科書 P. 77)	26
問題 19 育成費の計算 (教科書 P. 78)	27

第9章 農企業の財務諸表	28
問題20 財務諸表（教科書P.87）	28
第10章 標準原価計算	30
問題21 標準原価計算①（教科書P.93）	30
問題22 標準原価計算②（教科書P.95）	31
問題23 標準原価計算③（教科書P.97）	32
問題24 標準原価計算④（教科書P.99）	33
問題25 標準原価計算⑤（教科書P.99）	34
第11章 原価・生産規模・利益関係の分析	36
問題26 損益分岐分析（教科書P.107）	36
問題27 原価分解（固定分解）（教科書P.109）	37
第12章 直接原価計算	38
問題28 直接原価計算（教科書P.115）	38
 第2編 財務会計編	 40
第1章 簿記一巡の手続き	
本章には問題の配当はありません。	
第2章 伝票会計	40
問題29 伝票から総勘定元帳への転記（教科書P.133）	40
第3章 固定資産・繰延資産	42
問題30 減価償却費（教科書P.138）	42
問題31 建設仮勘定（教科書P.139）	43
問題32 生物・育成仮勘定（教科書P.142）	44
問題33 ファイナンス・リース取引の判定（教科書P.146）	45
問題34 借手の会計処理（教科書P.150）	46
問題35 オペレーティング・リース取引（教科書P.151）	47
問題36 無形固定資産（教科書P.152）	47
問題37 繰延資産（教科書P.153）	48
問題38 固定資産の売却（教科書P.155）	49
問題39 固定資産の買換え（教科書P.156）	50
問題40 固定資産の廃棄（教科書P.157）	51
問題41 固定資産の除却（教科書P.158）	52
問題42 固定資産の滅失Ⅰ（教科書P.161）	52

問題43	固定資産の減失Ⅱ（教科書 P.161）	53
問題44	固定資産の減失Ⅲ（教科書 P.161）	53
問題45	生物の売却（教科書 P.162）	54
問題46	圧縮記帳（教科書 P.164）	54
第4章	引当金・準備金	55
問題47	貸倒損失（教科書 P.166）	55
問題48	貸倒引当金の計上（教科書 P.167）	55
問題49	貸倒引当金の取崩し（教科書 P.168）	56
問題50	退職給付引当金（教科書 P.169）	56
問題51	農業経営基盤強化準備金（教科書 P.170）	57
第5章	株式会社	58
問題52	株式会社の設立（教科書 P.174）	58
問題53	株式会社の増資（教科書 P.175）	59
問題54	新株の発行（教科書 P.177）	59
問題55	剰余金の配当等Ⅰ（教科書 P.180）	60
問題56	剰余金の配当等Ⅱ（教科書 P.180）	61
問題57	剰余金の配当等Ⅲ（教科書 P.180）	62
問題58	剰余金の配当等Ⅳ（教科書 P.180）	62
問題59	法人税等（教科書 P.182）	63
第6章	農事組合法人	64
問題60	剰余金の配当（農事組合法人）（教科書 P.187）	64
第7章	その他の取引	65
問題61	交付金・補填金（教科書 P.191）	65
問題62	消費税（教科書 P.194）	66
第8章	決算	67
問題63	損益計算書・貸借対照表（教科書 P.203）	67
問題64	株主資本等変動計算書（教科書 P.206）	70
問題65	剰余金処分案（教科書 P.208）	71
第9章	収入保険	72
問題66	収入保険（教科書 P.210）	72

問題編

第1編 原価計算編

第1章 農業簿記の基礎

問題1 原価の分類

⇒ 解答P.76

次の項目を製造原価、販売費、一般管理費のそれぞれに分類しなさい。なお、解答にあたっては番号のみ記入すること。

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 水田の従業員の給料 | 2. 本社建物の減価償却費 | 3. 販売所の電気代 |
| 4. 本社役員の給料 | 5. 新製品発表会の費用 | 6. 農場の飼料費 |
| 7. 販売所の郵便切手代 | 8. 本社従業員の給料 | 9. 野菜畑の農薬費 |
| 10. 販売所建物の減価償却費 | 11. 水田機械の減価償却費 | 12. 本社建物の固定資産税 |
| 13. 本社の電話代 | 14. 農場機械の固定資産税 | 15. 販売所所長の給料 |

総 原 価														
製 造 原 価					販 売 費					一般管理費				

第2章 農業簿記の記帳体系

問題2 個別原価計算の記帳体系

⇒ 解答P.77

次の取引の仕訳と勘定への転記を行い、さらに指示書別原価計算表にも記入しなさい。

- (1) 肥料100,000円を掛で購入した。

.....

- (2) 購入した肥料のうち、直接材料費として生産指示書ジャガイモに20,000円、ニンジンに25,000円、タマネギに20,000円および間接材料費として30,000円消費した。

.....

- (3) 賃金手当175,000円から預り金25,000円を差し引き現金で支払った。

.....

- (4) 支払った賃金手当のうち、直接労務費として生産指示書ジャガイモに60,000円、ニンジンに65,000円、タマネギに20,000円および間接労務費として30,000円消費した。

.....

- (5) 経費80,000円を現金で支払った。

.....

- (6) 支払った経費のうち、直接経費として生産指示書ジャガイモに20,000円、ニンジンに10,000円および間接経費として50,000円消費した。

.....

- (7) 製造間接費110,000円を、一定の基準によって生産指示書ジャガイモに46,000円、ニンジンに44,000円、タマネギに20,000円配賦した。

.....

- (8) 生産指示書ジャガイモとニンジンが収穫された。なお、タマネギは月末現在未収穫である。

肥 料 費 (単位：円)	
(1) 買 掛 金	(2) 仕 掛 品
	〃 製 造 間 接 費
賃 金 手 当 (単位：円)	
(3) 預 り 金	(4) 仕 掛 品
〃 現 金	〃 製 造 間 接 費
経 費 (単位：円)	
(5) 現 金	(6) 仕 掛 品
	〃 製 造 間 接 費
製 造 間 接 費 (単位：円)	
(2) 肥 料 費	(7) 仕 掛 品
(4) 賃 金 手 当	
(6) 経 費	
仕 掛 品 (単位：円)	
(2) 肥 料 費	(8) 製 品
(4) 賃 金 手 当	
(6) 経 費	
(7) 製 造 間 接 費	
製 品 (単位：円)	
(8) 仕 掛 品	

指示書別原価計算表 (単位：円)			
摘 要	ジャガイモ	ニンジン	タマネギ
直接材料費			
直接労務費			
直接経費			
製造間接費			
合 計			
備 考			

第3章 材料費会計

問題 3 材料の購入

⇒ 解答 P.79

次の取引の仕訳を行いなさい。

種籾400,000円を掛で購入した。なお、引取運賃2,000円は月末に支払うことにした。

.....

.....

問題 4 材料の消費①

⇒ 解答 P.79

以下の取引について仕訳を行い、さらに材料勘定の空欄に金額を埋めなさい。なお、実際消費量については、素材は継続記録法、補助材料は棚卸計算法によって計算し、消費価格については、素材は先入先出法、補助材料は総平均法によって計算している。また、仕訳に用いる勘定科目名は材料勘定を参照して答えること。

4月1日：前月繰越	素 材	100kg	@200円	20,000円
	補助材料	200個	@ 50円	10,000円

5日：素材63,000円（300kg）を掛で購入した。

6日：補助材料48,000円（800個）を掛で購入した。

11日：素材250kgを製造指図書#100に出庫した。

18日：素材51,250円（250kg）を掛で購入した。

22日：素材300kgを間接材料として出庫した。

30日：補助材料の月末実地棚卸量は300個であり、間接材料費を計上した。

30日：素材の月末実地棚卸量は90kgであった。このため、棚卸減耗損を計上した。

問題5 材料の消費②

⇒ 解答P.81

次の〔資料〕に基づいて、諸問に答えなさい。

〔資 料〕

主要材料（種苗）について

継続記録法による出入記録を行っている。当月の入庫および出庫の状況は以下のとおりであった。なお、前月繰越は、@490円、100kgであった。

入 庫			出 庫	
日付	単価（円）	数量（kg）	日付	数量（kg）
6 / 2	@508	200	6 / 4	250
6 / 12	@516	300	6 / 18	230

（注） 当月末に行った実地棚卸の結果、棚卸減耗は存在しなかった。

問1 主要材料（種苗）の実際消費価格の計算方法として、先入先出法を採用している場合

- ① 実際消費価格を用いた場合の材料費
- ② 予定消費価格（@500円）を用いた場合の材料消費価格差異
- ③ 月末材料有高

問2 主要材料（種苗）の実際消費価格の計算方法として、総平均法を採用している場合

- ① 実際消費価格を用いた場合の材料費
- ② 予定消費価格（@500円）を用いた場合の材料消費価格差異
- ③ 月末材料有高

問3 主要材料（種苗）の実際消費価格の計算方法として、移動平均法を採用している場合

- ① 実際消費価格を用いた場合の材料費
- ② 予定消費価格（@500円）を用いた場合の材料消費価格差異
- ③ 月末材料有高

〔答案用紙〕（注）（ ）内には「借方・貸方」を明記すること。

問1	①	円	②	円（ ）
	③	円		
問2	①	円	②	円（ ）
	③	円		
問3	①	円	②	円（ ）
	③	円		

問題6 材料の消費③

⇒ 解答P.84

当社では、継続記録法により材料の実際消費量を計算しており、毎月末に实地棚卸を行うことで棚卸減耗を把握している。次の〔資料〕に基づいて、以下の諸問に答えなさい。

〔資料〕

当月の入庫および出庫の状況は以下のとおりであった。なお、前月繰越は80kgであった。

入 庫			出 庫	
日付	単価 (円)	数量 (kg)	日付	数量 (kg)
4 / 5	@2,510	500	4 / 10	480
4 / 20	@2,520	300	4 / 25	330

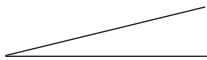
(注) 当月末の材料实地棚卸高は68kgであった。

問1 材料消費額に実際消費価格を用いている場合、諸勘定の記入を行い、また、当月の棚卸減耗損を算定しなさい。なお、材料の払出単価計算は先入先出法による。月初有高の単価は@2,490円であった。

問2 材料消費額に予定消費価格 (@2,500円) を用いている場合、諸勘定の記入を行い、また、当月の棚卸減耗損と材料消費価格差異を算定しなさい。なお、材料の実際払出単価計算は先入先出法による。月初有高の単価は@2,490円であった。

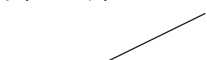
〔答案用紙〕（注）（ ）内には「有利・不利」を明記すること。

問1 棚卸減耗損 円

材	料	(単位：円)
4/1 前 月 繰 越	4/10 仕 掛 品	
4/5 買 掛 金	4/25 仕 掛 品	
4/20 買 掛 金	4/30 棚 卸 減 耗 損	
	4/30 次 月 繰 越	
5/1 前 月 繰 越		
仕 掛 品		(単位：円)
4/10 材 料		
4/25 材 料		

問2 棚卸減耗損 円

材料消費価格差異 円 ()

材	料	(単位：円)
4/1 前 月 繰 越	4/10 仕 掛 品	
4/5 買 掛 金	4/25 仕 掛 品	
4/20 買 掛 金	4/30 材料消費価格差異	
	〃 棚 卸 減 耗 損	
	4/30 次 月 繰 越	
5/1 前 月 繰 越		
仕 掛 品		(単位：円)
4/10 材 料		
4/25 材 料		

第4章 労務費会計

問題7 労務費会計Ⅰ

⇒ 解答P.86

次の取引の仕訳を行い、さらに賃金手当勘定および未払費用勘定への転記と締切りを
なさい。

8月1日 賃金手当の前月末未払額は60,000円であった。

25日 賃金手当の当月支給総額は200,000円であり、預り金20,000円を差し引き現金
で支払った。

31日 直接労務費160,000円と間接労務費50,000円を消費した。

31日 賃金手当の当月末未払額は70,000円であった。

賃 金 手 当 (単位：円)	
8/25 預 り 金	8/1 未 払 費 用
〃 現 金	31 仕 掛 品
31 未 払 費 用	〃 製 造 間 接 費
未 払 費 用 (単位：円)	
8/1 賃 金 手 当	8/1 前 月 繰 越 60,000
31 次 月 繰 越	31 賃 金 手 当
	9/1 前 月 繰 越

問題 8 労務費会計Ⅱ

⇒ 解答 P.87

次の取引の仕訳を行い、さらに諸勘定への転記と賃金手当勘定および未払費用勘定の締切りをなさい。

6月1日 作業員の前月末未払額は360,000円であった。

25日 作業員の当月支給総額は1,600,000円であった。なお、預り金120,000円を差し引き1,480,000円を現金で支払った。

30日 作業員の実際作業時間の内訳は次のとおりであった。

直接作業時間 1,810時間 間接作業時間 500時間 手待時間 150時間
なお、消費賃率は予定消費賃率を採用し、1時間当たり640円であった。

30日 作業員の当月末未払額は340,000円であった。なお、賃金手当勘定における貸借差額を賃率差異勘定へ振り替えた。

賃 金 手 当 (単位：円)	
6/25 預 り 金	6/1 未 払 費 用
〃 現 金	30 仕 掛 品
30 未 払 費 用	〃 製 造 間 接 費
	〃 賃 率 差 異
未 払 費 用 (単位：円)	
6/1 賃 金 手 当	6/1 前 月 繰 越 360,000
30 次 月 繰 越	30 賃 金 手 当
	7/1 前 月 繰 越
賃 率 差 異 (単位：円)	
6/30 賃 金 手 当	

解 答 編

第 1 編 原価計算編

第 1 章 農業簿記の基礎

問題 1

 原価の分類

総 原 価														
製 造 原 価					販 売 費					一般管理費				
1	6	9	11	14	3	5	7	10	15	2	4	8	12	13

第2章 農業簿記の記帳体系

問題2 個別原価計算の記帳体系

(1)	(肥料費)	100,000	(買掛金)	100,000
(2)	(仕掛品)	65,000	(肥料費)	95,000
	(製造間接費)	30,000		
(3)	(賃金手当)	175,000	(預り金)	25,000
			(現金)	150,000
(4)	(仕掛品)	145,000	(賃金手当)	175,000
	(製造間接費)	30,000		
(5)	(経費)	80,000	(現金)	80,000
(6)	(仕掛品)	30,000	(経費)	80,000
	(製造間接費)	50,000		
(7)	(仕掛品)	110,000	(製造間接費)	110,000
(8)	(製品)	290,000	(仕掛品)	290,000

肥料費 (単位：円)			
(1) 買掛金	100,000	(2) 仕掛品	65,000
		〃 製造間接費	30,000
賃金手当 (単位：円)			
(3) 預り金	25,000	(4) 仕掛品	145,000
〃 現金	150,000	〃 製造間接費	30,000
経費 (単位：円)			
(5) 現金	80,000	(6) 仕掛品	30,000
		〃 製造間接費	50,000
製造間接費 (単位：円)			
(2) 肥料費	30,000	(7) 仕掛品	110,000
(4) 賃金手当	30,000		
(6) 経費	50,000		

仕 掛 品 (単位：円)	
(2) 肥料費 65,000	(8) 製品 290,000
(4) 賃金手当 145,000	
(6) 経費 30,000	
(7) 製造間接費 110,000	
製 品 (単位：円)	
(8) 仕掛品 290,000	

指示書別原価計算表				(単位：円)
摘 要	ジャガイモ	ニンジン	タマネギ	合 計
直接材料費	20,000	25,000	20,000	65,000
直接労務費	60,000	65,000	20,000	145,000
直接経費	20,000	10,000	—	30,000
製造間接費	46,000	44,000	20,000	110,000
合 計	146,000	144,000	60,000	350,000
備 考	収 穫	収 穫	未 収 穫	

第3章 材料費会計

問題3 材料の購入

(種 苗 費) 402,000 (買 掛 金) 400,000
(未 払 金) 2,000

問題4 材料の消費①

<解答>

	(借 方)	(貸 方)
5日:	材 料 63,000円	買 掛 金 63,000円
6日:	材 料 48,000円	買 掛 金 48,000円
11日:	仕 掛 品 51,500円	材 料 51,500円
18日:	材 料 51,250円	買 掛 金 51,250円
22日:	製 造 間 接 費 62,250円	材 料 62,250円
30日:	製 造 間 接 費 40,600円	材 料 40,600円
30日:	棚 卸 減 耗 損 2,050円	材 料 2,050円

材	料 (単位:円)
4/1 前 月 繰 越 (30,000)	4/11 仕 掛 品 (51,500)
5 買 掛 金 (63,000)	22 製 造 間 接 費 (62,250)
6 買 掛 金 (48,000)	30 製 造 間 接 費 (40,600)
18 買 掛 金 (51,250)	30 棚 卸 減 耗 損 (2,050)
	30 次 月 繰 越 (35,850)
	<u>(192,250)</u>
5/1 前 月 繰 越 (35,850)	<u>(192,250)</u>

<解説>

1. 素材の材料元帳（先入先出法）

日	摘要	入 庫			出 庫			残 高			
		数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	
1	前月繰越	100	200	20,000				100	200	20,000	
5	仕 入	300	210	63,000				{	100	200	20,000
									300	210	63,000
11	出 庫				{	100	200	20,000			
						150	210	31,500	150	210	31,500
18	仕 入	250	205	51,250				{	150	210	31,500
									250	205	51,250
22	出 庫				{	150	210	31,500			
						150	205	30,750	100	205	20,500
30	減 耗				10	205	2,050	90	205	18,450	
	計				560		115,800				
	残 高				90	205	18,450				
		650		134,250	650		134,250				

2. 補助材料に関する計算

	補 助 材 料						
前月繰越	200個	@50円	10,000円	700個	@58円	40,600円	当月消費
当月仕入	800個	@60円	48,000円	300個	@58円	17,400円	次月繰越
計	1,000個	@58円	<u>58,000円</u>	1,000個	@58円	<u>58,000円</u>	

問題5 材料の消費②

<解答・解説>

問1

①

243,480円

②

3,480円 (借 方)

③

61,920円

1. 材料元帳 (先入先出法)

日	摘要	入 庫			出 庫			残 高			
		数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	
1	繰 越	100	490	49,000				100	490	49,000	
2	入 庫	200	508	101,600				{	100	490	49,000
									200	508	101,600
4	出 庫				{	100	490	49,000	50	508	25,400
						150	508	76,200			
12	入 庫	300	516	154,800				{	50	508	25,400
									300	516	154,800
18	出 庫				{	50	508	25,400	120	516	61,920
						180	516	92,880			
	計				480		243,480				
	(残 高)				120	516	61,920				
		600		305,400	600		305,400				

2. 実際消費価格を用いた場合の材料費：243,480円

3. 予定消費価格を用いた場合の材料費：@500円×(250kg+230kg)=240,000円

4. 材料消費価格差異：240,000円－243,480円＝－3,480円 (不利＝借方)

5. 月末材料有高：61,920円 (実際消費価格を用いても予定消費価格を用いても同じ)

問2

①

244,320円

②

4,320円（借方）

③

61,080円

1. 材料元帳（総平均法）

日	摘要	入 庫			出 庫			残 高		
		数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)
1	繰越	100	490	49,000				100	490	49,000
2	入庫	200	508	101,600				300		
4	出庫				250			50		
12	入庫	300	516	154,800				350		
18	出庫				230			120	509	61,080
	計				480	*509	244,320			
	(残高)				120	509	61,080			
		600		305,400	600		305,400			

* : (49,000円 + 101,600円 + 154,800円) ÷ 600kg = @509円

2. 実際消費価格を用いた場合の材料費：244,320円

3. 予定消費価格を用いた場合の材料費：@500円 × (250kg + 230kg) = 240,000円

4. 材料消費価格差異：240,000円 - 244,320円 = -4,320円（不利 = 借方）

5. 月末材料有高：61,080円（実際消費価格を用いても予定消費価格を用いても同じ）

問3 ① 243,720円

② 3,720円 (借 方)

③ 61,680円

1. 材料元帳 (移動平均法)

日	摘要	入 庫			出 庫			残 高		
		数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)
1	繰 越	100	490	49,000				100	490	49,000
2	入 庫	200	508	101,600				300	502	150,600
4	出 庫				250	502	125,500	50	502	25,100
12	入 庫	300	516	154,800				350	514	179,900
18	出 庫				230	514	118,220	120	514	61,680
	計				480		243,720			
	(残 高)				120	514	61,680			
		600		305,400	600		305,400			

2. 実際消費価格を用いた場合の材料費：243,720円

3. 予定消費価格を用いた場合の材料費：@500円×(250kg+230kg)=240,000円

4. 材料消費価格差異：240,000円－243,720円＝－3,720円 (不利＝借方)

5. 月末材料有高：61,680円 (実際消費価格を用いても予定消費価格を用いても同じ)

問題6 材料の消費③

<解答>

問1 棚卸減耗損 5,040円

材		料		(単位：円)
4/1 前月繰越	199,200	4/10 仕掛品	1,203,200	
4/5 買掛金	1,255,000	4/25 仕掛品	830,600	
4/20 買掛金	756,000	4/30 棚卸減耗損	5,040	
		4/30 次月繰越	171,360	
	2,210,200		2,210,200	
5/1 前月繰越	171,360			
仕掛品				(単位：円)
4/10 材料	1,203,200			
4/25 材料	830,600			

問2 棚卸減耗損 5,040円

材料消費価格差異 8,800円(不利)

材		料		(単位：円)
4/1 前月繰越	199,200	4/10 仕掛品	1,200,000	
4/5 買掛金	1,255,000	4/25 仕掛品	825,000	
4/20 買掛金	756,000	4/30 材料消費価格差異	8,800	
		〃 棚卸減耗損	5,040	
		4/30 次月繰越	171,360	
	2,210,200		2,210,200	
5/1 前月繰越	171,360			
仕掛品				(単位：円)
4/10 材料	1,200,000			
4/25 材料	825,000			

<解説>

問 1

問 2

1. 材料元帳（先入先出法）

日	摘要	入 庫			出 庫			残 高			
		数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円/kg)	金額 (円)	
1	前月繰越	80	2,490	199,200				80	2,490	199,200	
5	仕 入	500	2,510	1,255,000				{	80	2,490	199,200
									500	2,510	1,255,000
10	出 庫				{	80	2,490	199,200			
						400	2,510	1,004,000	100	2,510	251,000
20	仕 入	300	2,520	756,000				{	100	2,510	251,000
									300	2,520	756,000
22	出 庫				{	100	2,510	251,000			
						230	2,520	579,600	70	2,520	176,400
30	減 耗				2	2,520	*5,040	68	2,520	171,360	
	計				812		2,038,840				
	残 高				68	2,520	171,360				
		880		2,210,200	880		2,210,200				

*：棚卸減耗損「消費」を行っていないので、実際価格により算定する。

2. 実際消費価格を用いた場合の材料費（問 1 材料元帳出庫欄（金額）の網掛け部分の合計）

$$199,200\text{円} + 1,004,000\text{円} + 251,000\text{円} + 579,600\text{円} = 2,033,800\text{円}$$

3. 予定消費価格を用いた場合の材料費（問 2 材料元帳出庫額（数量）の網掛け部分を利用し算定）

$$2,500\text{円/kg} \times (80\text{kg} + 400\text{kg} + 100\text{kg} + 230\text{kg}) = 2,025,000\text{円}$$

4. 材料消費価格差異（問 2）

$$2,025,000\text{円} - 2,033,800\text{円} = -8,800\text{円（不利）}$$

第4章 労務費会計

問題7 労務費会計Ⅰ

8月1日	(未払費用)	60,000	(賃金手当)	60,000
25日	(賃金手当)	200,000	(預り金)	20,000
			(現金)	180,000
31日	(仕掛品)	160,000	(賃金手当)	210,000
	(製造間接費)	50,000		
31日	(賃金手当)	70,000	(未払費用)	70,000

賃金手当		(単位：円)
8/25 預り金	20,000	8/1 未払費用 60,000
〃 現金	180,000	31 仕掛品 160,000
31 未払費用	70,000	〃 製造間接費 50,000
	270,000	270,000

未払費用		(単位：円)
8/1 賃金手当	60,000	8/1 前月繰越 60,000
31 次月繰越	70,000	31 賃金手当 70,000
	130,000	130,000
		9/1 前月繰越 70,000

問題8 労務費会計Ⅱ

6月1日	(未払費用)	360,000	(賃金手当)	360,000
25日	(賃金手当)	1,600,000	(預り金)	120,000
			(現金)	1,480,000
30日	(仕掛品)	1,158,400	(賃金手当)	1,574,400
	(製造間接費)	416,000		
30日	(賃金手当)	340,000	(未払費用)	340,000
	(賃率差異)	5,600	(賃金手当)	5,600

賃金手当 (単位：円)

6/25 預り金	120,000	6/1 未払費用	360,000
〃 現金	1,480,000	30 仕掛品	1,158,400
30 未払費用	340,000	〃 製造間接費	416,000
		〃 賃率差異	5,600
	1,940,000		1,940,000

未払費用 (単位：円)

6/1 賃金手当	360,000	6/1 前月繰越	360,000
30 次月繰越	340,000	30 賃金手当	340,000
	700,000		700,000
		7/1 前月繰越	340,000

賃率差異 (単位：円)

6/30 賃金手当	5,600
-----------	-------

<解説>

直接労務費 1,810時間×@640円=1,158,400円

間接労務費 (500時間+150時間)×@640円=416,000円

賃率差異 (1) 原価計算期間の要支払額

1,600,000円-360,000円+340,000円=1,580,000円

(2) 賃率差異

(1,158,400円+416,000円)-1,580,000円=5,600円 (借方差異)

作 業 員

給与計算期間の支給総額 1,600,000円	前月末未払額 360,000円	原価計算期間の要支払額 1,580,000円
	直接労務費 1,810時間 × @640円 = 1,158,400円	
	間接労務費 650時間 × @640円 = 416,000円	
当月末未払額 340,000円	賃率差異 5,600円	